

「もう以前の管理体制には戻せない」
 そう現場担当者が語る、“業務を一変させた管理改革”

MISUMI
flow

平田機工株式会社

Hirata

社名 平田機工株式会社
 業種 機械、精密部品
 従業員数 2,347名(連結) ※2025年3月31日現在

平田機工
 株式会社様の
 インタビュー全編は
 こちら →



Point



時間削減効果：発注作業時間月約20時間削減



コスト削減効果：切削工具集約による調達コスト削減



データ活用効果：使用量データ活用(製造ライン異常検知)

導入前の課題

Excelでの注文が非効率で、
在庫管理も不十分だった

倉田さま：「MISUMI flow(フロー)」導入前は、切削工具の注文申請・在庫管理をExcelシートで行っていました。休日や夜間など現場責任者の私が不在のときは注文が遅れてしまったり、Excelシートへの記載漏れ・発注漏れがあった際はメールや電話でやり取りをして、急いで注文を進めたりすることもあり、在庫管理全体的に非効率な運用が続いていました。

導入の決め手

中国現地法人での成功事例を元にした
経営層からの導入要望

倉田さま：もともと中国現地法人で先に導入し成功した経緯を受け、平田機工でも「MISUMI flow」検討、導入を決めました。経営層からのコスト削減と工具集約の要望に応えるかたちで在庫管理を効率化でき、工具欠品による製造納期遅延も防げることができると思いました。工具だけではなく手袋やマスクなどの消耗品もExcel管理をしていたので、それらも「MISUMI flow」での管理に切り替えました。



導入後の効果 / 社内の反応

異常値の原因を探ることで
業務改善にもつながった

村上さま：これまで月に数十回近くの注文をおこなっていましたが、月一回の支払いのみとなり非常に楽になりました。使用頻度に応じて製品の投入数を簡単に変更できるのも助かっています。入力から確認・注文・受入れ・棚卸しといった一連の業務に要していた時間は月20時間ほどだったかと思いますが、この時間はほぼゼロになりました。

倉田さま：「MISUMI flow」の導入を機に、切削工具に関しては約1,300種から約270種に集約しました。作業者からは「この工具は残すべきでは？」という声もありましたが、そうした製品であっても、実際に集約してみると大きな不具合はありませんでした。

使用量データが可視化できるので、工具使用量の急激な変化や製造工程の不具合に対して即座に原因追及ができるようになりました。自販機の活用により、切削工具管理が容易になったため、「以前のExcelシートによる手入力と発注申請には戻れない」と現場担当者から感想があがっています。



今後の展望

特殊工具の集約と使用量データ活用への
時間投資

倉田さま：今後は特殊工具の集約にも取り組み、さらなるコスト削減に努めたいです。「MISUMI flow」の導入によって、ノンコア業務を大幅に削減できました。今後は、削減できた時間をさらなるデータ活用など付加価値業務に充てていきたいと思っています。